

2022年12月12日(月)

## 映画『月の満ち欠け』

10日(土)は某企業CM(「放課後編」という設定らしい)の撮影にご協力いただきありがとうございました。校舎撮影と言え、現在、上映中の『月の満ち欠け』でも本校はたくさん使われています。

原作は佐藤 正午さんの同名小説ですが、この本との出会いは本の帯にあった「岩波文庫、最初で最後の直木賞作品」という不思議な(?)キャッチコピーでした。もちろん2017年上半期の第157回直木賞の受賞作なのですが、この宣伝文句に誘われて手にした次第です。佐藤 正午さんの作品としては『鳩の撃退法』(2014)が有名ですが、映画の影響もあってか、岩波文庫の現代小説としては異例(?)とも言うべき26万部のヒット作となっているそうです。ぜひお読みください。

ところで、この映画『月の満ち欠け』の撮影話が本校にあったのは今年の2月末のこと。大泉 洋さん・有村 架純さん・柴崎 コウさん・目黒 蓮(Snow Man)さん・伊藤 沙莉さんというビックな面々が登場する作品ですが、本校での撮影は主人公の一人:小山内 瑠璃の高校生時代のシーン。瑠璃役の菊池 日菜子\*さん・友人役の伊藤 沙莉さんの撮影は、試験前で部活動のない日曜日に美術室や校舎内・正門のスロープなどで行われました。菊池さんの演技とともに映る美術室の棚や床も、教室入り口の凹んだ扉も、窓下のアルミ製の少し歪んだ手すりも、スロープにも「懐かしさ」を感じながら作品を鑑賞しました。中でも、4階ホールに立つ彼女の後ろ姿とその先に映し出された遠景は、過去の記憶と現在、そして未来を結びつける暗的な映像効果を醸し出していました。撮影では高校生役のエキストラとして本校生徒にもオファーもありましたが、試験前ということもあって残念ながら採用に至りませんでした。

映画の公式予告編やYou Tubeで配信中の特別編でも、ほんの数秒だけ本校を見ることができますが、是非スクリーンの大画面でご覧ください。美術室の風景もいいですよ。

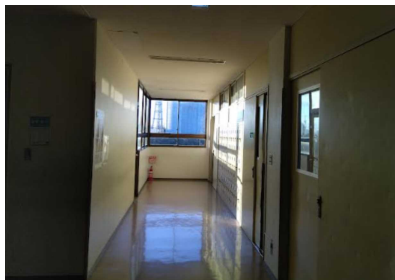
\*菊池 日菜子(20)福岡県筑紫高校出身。170cm。インターハイ北部九州大会 2020 では女子ハンマー投げで6位入賞の記録をもつアスリート。それにしても皆、大きい。

## 【映画で使われた主な場所】



美術室

撮影時には雑然とした感じがいいと言われたましたが、今は整然と！



校舎4階廊下  
東側



校舎4階ホール

菊池 日菜子さんが立っていた場所



正門へ至るスロープ

映画では語らいながらの下校する生徒たちの姿がありました

## 参考文献

佐藤 正午(2017)『月の満ち欠け』岩波文庫、408 頁。

佐藤 正午(2018)『鳩の撃退法』上・下、小学館文庫、557 頁+ 548 頁。オリジナル(2014)第6回山田風太郎賞受賞作。藤原竜也・土屋太鳳主演で映画化(2021)されている。

イアン=スティーヴンソン、訳:笠原敏雄(2018)『前世を記憶する子どもたち』角川文庫、608 頁。オリジナル邦訳(1990)日本教文社。

校長 石飛 一吉